

2015(平成27)年度 法学部 一般入学試験問題 訂正

教科・科目	ページ	設問	誤	→	正
地理歴史 (世界史)	8	問題 Ⅲ	上から2行目 (カ) (67) ; (68)	→	上から2行目 (ケ) (67) ; (68)
地理歴史 (日本史)	11	問題 Ⅳ	[語群] 31. 蔣介石	→	[語群] 31. 蔣介石

平成 27 年度

慶應義塾大学入学試験問題

法 学 部

地 理 歴 史 (世界史)

- 注 意
1. 指示があるまで開かないこと。
 2. 解答用紙のそれぞれ指定された箇所に氏名と受験番号を記入すること。受験番号欄には忘れずマークすること。
 3. 解答は、必ず解答用紙の指定の欄にマークすること。
 4. 解答用紙の解答欄にマークするときには、すべて HB の黒鉛筆を使用し、また、次の解答例に従うこと。
(解答例)

(1)	(2)
-----	-----

 と表示のある問いに対して、「09」と解答する場合は、右に示すように解答欄 (1) の ① と (2) の ⑨ にマークすること。
 5. 下書きの必要があれば、問題冊子の余白を利用すること。解答用紙の余白には何も書いてはいけない。
 6. この問題冊子は11頁ある。試験開始後ただちに落丁、乱丁等の有無を確認し、異常がある場合にはただちに監督者に申し出ること。

(1)	(2)
●	①
①	②
②	③
③	④
④	⑤
⑤	⑥
⑥	⑦
⑦	⑧
⑧	●
⑨	⑨
○	○

問題 I

以下の問題文の空欄 (1) (2) から (15) (16) に入る最も適切な語句を語群の中から選び、その番号を解答用紙の所定の欄にマークしなさい。また、下線部に関する設問 (ア) (17) (18) から (オ) (25) (26) に解答し、(ア) から (エ) については、最も適切な語句を語群の中から選び、(オ) については、最も適切な選択肢を選び、それぞれの番号を解答用紙の所定の欄にマークしなさい。

ひとたび歴史を紐解いてみれば、洋の東西を問わず、大国の角逐に翻弄される小国の姿をしばしば目にすることができる。かつて「両シチリア王国」と呼ばれた、シチリアとナポリも、イタリアにおける覇権を競う諸勢力の間で揺れ動いてきた。

古くは前8世紀中葉に始まる^(ア)ギリシャ人の入植の頃より、地中海世界屈指の穀倉地帯として知られたシチリアは、アラブ人による支配を経て、ルッジェーロ2世の下でナポリと共に両シチリア王国を形成した。その後、王国の支配権はシュタウフェン家に移り、1220年に神聖ローマ皇帝 (1) (2) となった国王の統治下で隆盛を見た。しかし、やがて王位継承をめぐる騒乱が生じ、教皇の介入によって、フランス王ルイ9世の弟が新たな支配者に推戴された。

「シチリアの晩鐘」事件により、両シチリア王国はアラゴン王家の支配するシチリア王国と (3) (4) 家の支配するナポリ王国に分裂した。やがて、ナポリ王国に対してもアラゴン王家の支配が及ぶようになると、これに不満を抱いた (5) (6) が、1494年にナポリの王位継承権を主張してイタリアに侵攻し、いわゆる「イタリア戦争」が勃発する。(7) (8) 条約の締結によって同戦争が終結し、スペイン領となった両シチリア王国は、以後17世紀まで、副王(総督)が統治する一種の植民地として、スペイン経済に組み込まれることになった。この間、地中海における^(イ)オスマン帝国の勢力伸長と「新大陸の発見」によって、主要な貿易航路は大西洋に移っていく。それに伴い^(ウ)レヴァント貿易の重要性が低下したことにより、イタリア諸都市は次第に衰退し、外国勢力による分断支配を受け続けたのである。

1700年に、スペイン=ハプスブルク家最後の王 (9) (10) が世継を残さずに死去し、スペイン王位を継いだルイ14世の孫によってスペイン=ブルボン朝が開かれたものの、オーストリア=ハプスブルク家も王位継承権を主張したことで、「スペイン継承戦争」が勃発した。1714年に、神聖ローマ皇帝カール6世とルイ14世の間で締結された (11) (12) 条約によって、両シチリア王国の支配権はオーストリア=ハプスブルク家に移ったが、後にブルボン家系に復帰することになる。

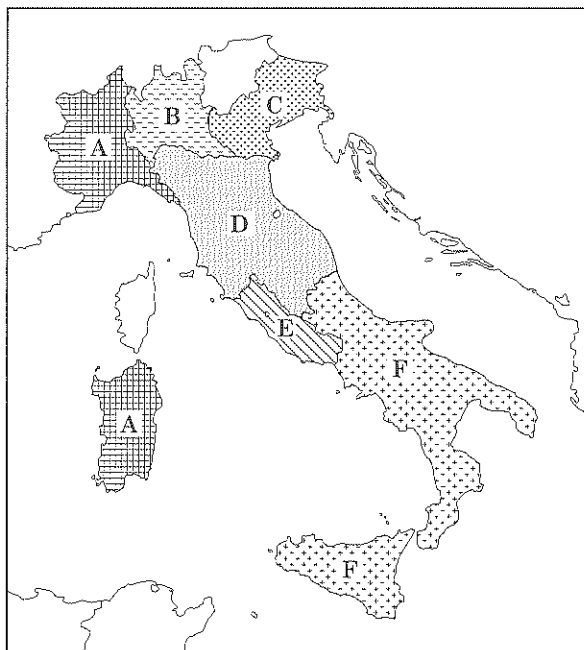
近代に入ると、ナポリはフランス革命後の混乱を取捨し権力を掌握したナポレオンの支配下に置かれた。ナポリの元首に据えられたナポレオンの兄 (13) (14) は、後にスペイン王となるが、民衆の抵抗を受け、半島戦争を招くことになる。ナポレオンによる大陸支配は、当初は封建的圧政からの解放として人々に迎えられたものの、やがて外国支配に対する民族意識を目覚めさせ、国民国家形成の気運を高めることになった。

1848年2月に、フランスの (15) (16) 内閣がパリの改革宴会を弾圧したことから、^(エ)革命が勃発した。その影響は全ヨーロッパに波及し、各地で自由主義やナショナリズムに根差した運動が続発してウィーン体制の解体につながっていく。^(オ)分裂状態にあったイタリアでは、統一と改革を目指すリソルジメント運動が高揚し、1870年には一応の統一を見た。

[設問]

- (ア) 前5世紀に現在の南仏地中海沿岸に建設された、ギリシャ人植民市はどこか。 (17) (18)
- (イ) オスマン帝国は、13世紀末にルーム＝セルジューク朝から自立し発展した。同朝は、第1回十字軍の際に首都を奪われたが、その後新たに都と定められた地はどこか。 (19) (20)
- (ウ) レヴァント貿易に代表される地中海交易圏とインド洋交易圏の中継地として、ムスリム商人の拠点となった、地中海沿岸の港湾都市はどこか。 (21) (22)
- (エ) この革命により成立した臨時政府に参加した社会主義者で、国立作業場の設置などの社会政策を推進したが、4月選挙で落選し、6月暴動の後イギリスに亡命したのは誰か。 (23) (24)
- (オ) イタリア統一の過程に関する次の文の各空欄には、次の地図上に示されるA～Fのいずれかの地域が入る。空欄①～⑥のそれぞれに対応する地域を示す記号の組み合わせとして最も適切なものを [01] ～ [12] から選び、その番号を (25) (26) にマークしなさい。

トリノを首都とする (①) は、対オーストリア戦争の結果 (②) を獲得したのを皮切りに、(③) (④) (⑤) の順に併合を進め、最終的に (⑥) を占領するに至った。



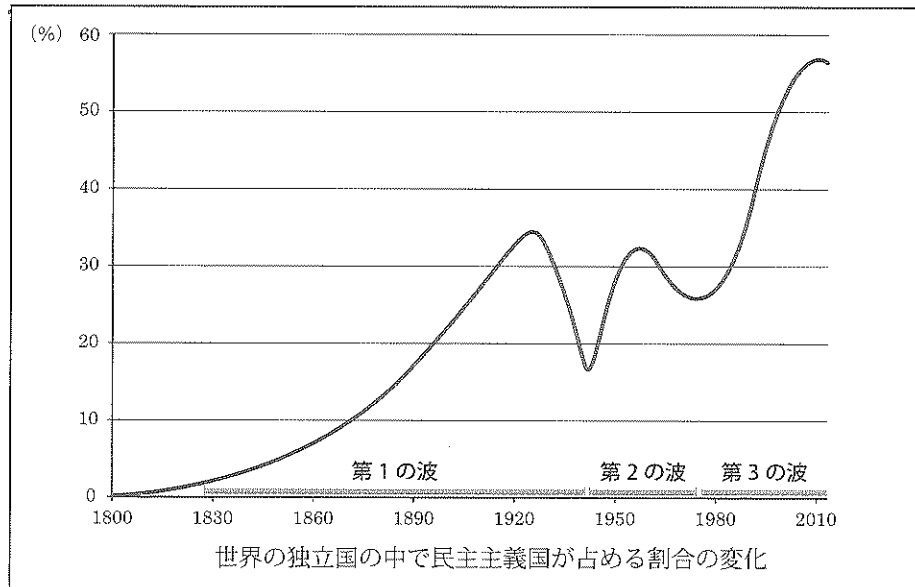
	①	②	③	④	⑤	⑥
[01]	A	B	C	E	D	F
[02]	A	B	D	F	C	E
[03]	A	C	B	E	F	D
[04]	A	C	D	F	E	B
[05]	B	A	C	D	E	F
[06]	B	A	C	D	F	E
[07]	B	C	A	E	D	F
[08]	B	C	D	A	F	E
[09]	C	A	B	D	E	F
[10]	C	A	B	F	E	D
[11]	C	B	D	E	F	A
[12]	C	B	A	D	F	E

[語群]

- | | | | |
|---------------|---------------|----------------|---------------|
| 01. アデン | 02. アレクサンドリア | 03. アンジュー | 04. アンリ 3 世 |
| 05. イズニク | 06. ヴァロワ | 07. エヴィアン | 08. エディルネ |
| 09. エベール | 10. オスマン | 11. オットー 4 世 | 12. オルレアン |
| 13. カイロ | 14. カトー=カンブレジ | 15. カルロス 2 世 | 16. ギゾー |
| 17. キャフタ | 18. コリントス | 19. コンヤ | 20. サラゴサ |
| 21. サン=シモン | 22. ジェローム | 23. シェンゲン | 24. シャトーブリアン |
| 25. シャルル 4 世 | 26. シャルル 8 世 | 27. ジョアン 2 世 | 28. ジョゼフ |
| 29. シーラーフ | 30. タレントウム | 31. ティエール | 32. ニケーア |
| 33. ニーシャープール | 34. ニスタット | 35. ノルマン | 36. ハインリヒ 1 世 |
| 37. バクーニン | 38. バスラ | 39. ピルニッツ | 40. ビレネー |
| 41. フィリップ 6 世 | 42. フェリペ 5 世 | 43. フェルナンド 5 世 | 44. フランソワ 1 世 |
| 45. フランツ 1 世 | 46. フーリエ | 47. フリードリヒ 2 世 | 48. ブルゴーニュ |
| 49. プルサ | 50. プルードン | 51. マクシミリアン | 52. ミレトス |
| 53. ラウレイオン | 54. ラシュタット | 55. ラマルティエヌ | 56. ルイ=ブラン |
| 57. ルドルフ 1 世 | 58. レオポルト 2 世 | 59. ロバート=オーウェン | 60. ロンドン |

問題 II

今日、民主主義国は世界の独立国のおよそ半分を占めるとされている。とはいえ、民主主義国の割合は歴史的に常に増加しつづけてきたのではなく、下の図に示されているように、何度かの増減あるいは「波」があったと考えられている。世界各地の民主主義の発展や政治体制の変化に関する、以下の設問 1 から設問 8 に答えなさい。



Polity Project (www.systemicpeace.org/polityproject.html) のデータを基に作成した。

設問 1

イギリスでは、中世から近代にかけて王権が制限されていき、議会主権が成立した。それに関連して、以下の中から誤った記述を選び、その番号を解答用紙の (27) (28) にマークしなさい。

- [01] ジョン王は教皇と争って破門され、後に屈服するなどの失態が続き、貴族たちによって大憲章（マグナ＝カルタ）を受け入れさせられた。
- [02] ピューリタン革命の過程で、クロムウェルはスコットランドを征服した。
- [03] 名誉革命を経て、寛容法によってカトリックに信教の自由が認められた。
- [04] アメリカ独立宣言では、イギリス国王による不正の一つとして植民地議会の役割を不当に制約したことに言及されている。

設問 2

図の第 1 の「波」に関連して、イギリスでは 19 世紀前半から 20 世紀前半にかけて、5 度の選挙法改正が行われた。これに関連して、以下の中から誤った記述を選び、その番号を解答用紙の (29) (30) にマークしなさい。

- [01] イギリスで男女の普通選挙制が実現したのは、20 世紀に入ってからである。
- [02] 5 度の選挙法改正の際には、ホイッグ党か自由党のいずれかが政権に参加していた。
- [03] 19 世紀前半に登場したチャーティスト運動は、男性普通選挙とともに無記名秘密投票の実現を目指していた。
- [04] 第 1 回選挙法改正に影響を与えたヨーロッパ大陸における革命は、選挙権の制限を含む勅令をきっかけに発生した。

設問 3

図の第1の「波」から第2の「波」への過渡期にみられる民主主義国の割合の減少は、知識人たちにも大きな影響を与えた。この時期の知識人の活動に関して、以下の中から誤った記述を選び、その番号を解答用紙の (31) (32) にマークしなさい。

- [01] 『ジャン＝クリストフ』で知られる作家のロマン＝ロランは、ドレフュス事件でドレフュスを支援し、反ファシズムと反戦を訴えて、アムステルダム反戦会議の開催を呼びかけた。
- [02] フランスの作家であるマルローは、スペイン内戦に国際義勇兵として参加した。
- [03] ナチスの迫害を避けてドイツからアメリカ合衆国に亡命したアインシュタインは、ドイツに先がけて原子爆弾を開発するようフランクリン＝ローズヴェルト大統領に示唆した。
- [04] シュベングレーは『西洋の没落』の中で、第二次世界大戦後のアメリカ合衆国とソ連の台頭を見て、ヨーロッパの没落を論じた。

設問 4

図の第2の「波」の時期に独立した国々について、以下の中から誤った記述を選び、その番号を解答用紙の (33) (34) にマークしなさい。

- [01] フランスから独立したカンボジアでは、1976年に親中国のポル＝ポトを大統領とする民主カンブチア政府が成立した。
- [02] 東南アジアの旧イギリス領に成立したマレーシアと、そこから分離独立したシンガポールは、インドネシア、タイ、フィリピンとともに、東南アジア諸国連合（ASEAN）を結成した。
- [03] かつてオランダ領であったインドネシアは、国際連合の関与を経て1949年に締結されたハーグ協定によって独立を達成した。
- [04] ベトナム民主共和国は1945年に独立を宣言したが、その後旧宗主国フランスとの間で様々な対立が生じ、インドシナ戦争が始まった。

設問 5

図の第3の「波」の重要な一部とされる社会主義圏の崩壊およびソ連解体とその後の展開に関して、以下の中から誤った記述を選び、その番号を解答用紙の (35) (36) にマークしなさい。

- [01] セルビアとモンテネグロからなる新ユーゴスラヴィア連邦のミロシェヴィッチ大統領は、2000年9月の大統領選挙後、選挙の不正を批判され抗議運動のなかで10月に退陣した。
- [02] 2007年EUに加盟したルーマニアは、1989年の東欧革命で唯一独裁者が処刑された国である。
- [03] トルクメニスタンではソ連解体後、間もなく内戦が生じた。国際連合が停戦監視を行ない、日本も参加した。
- [04] ソ連解体後、縮小傾向にあった経済をのちに好転させたロシアは、中国、ブラジル、インドと並ぶ新興経済国のひとつとされるようになった。

設問 6

民主化後の韓国について、以下の中から誤った記述を選び、その番号を解答用紙の (37) (38) にマークしなさい。

- [01] 盧泰愚政権は、ソ連、中国と国交を樹立し、朝鮮民主主義人民共和国とともに国際連合に加盟した。
- [02] 金泳三政権は、軍人出身の前二代の大統領を処罰するなど、文民統治の定着に努めた。
- [03] 金大中政権は、経済危機を招き国際通貨基金（IMF）の支援をあおいだが、その後、改革を進めて経済を回復基調にのせた。
- [04] 盧武鉉政権は、朝鮮民主主義人民共和国に対して融和政策を推進し、南北首脳会談を実現した。

設問 7

アジア諸国における女性の政治指導者たちについて、以下の中から最も適切な記述を選び、その番号を解答用紙の (39) (40) にマークしなさい。

- [01] インドでは、独立後一貫して国民会議派が政権を掌握していたが、1977年の総選挙で惨敗し、初代首相ネルーの娘であるインディラ＝ガンディーが首相の座から降りた。
- [02] 1980年代半ば、フィリピンではラモス政権による選挙不正への抗議運動が高まり、独裁体制が倒れ、野党の統一候補であったコラソン＝アキノが大統領となった。
- [03] ビルマ（ミャンマー）のスー＝チーは、1980年代末に民主化運動にかかわり、全国民主連盟を結成して1990年の総選挙を戦ったが、軍事政権の干渉により敗北した。
- [04] インドネシアでは、1998年スハルト政権が崩壊し、民主的な選挙により文民政権が誕生した。2001年に、スハルトの長女メガワティが大統領に選ばれた。

設問 8

1980年代以降の民主化を目指す動きについて、以下の中から最も適切な記述を選び、その番号を解答用紙の (41) (42) にマークしなさい。

- [01] 中国では改革開放路線を進めた趙紫陽の死亡をきっかけに、自由化を求める大規模デモが生じ、共産党総書記胡耀邦が失脚した。
- [02] チェコスロヴァキアの共産党支配を倒すのに貢献した劇作家ハヴェルは、1989年に大統領に就任し、チェコとスロヴァキアの分離後はスロヴァキアの大統領になった。
- [03] 南アフリカ共和国では、マンデラが結成したアフリカ民族会議（ANC）の活動もあって、アパルトヘイトが撤廃され、彼はこの功績によりノーベル平和賞を受賞した。
- [04] 台湾では、2000年に民進党候補である陳水扁が総選挙に勝利し、半世紀にわたる国民党支配に終止符を打った。

問題Ⅲ

以下の問題文の空欄 (43) (44) から (49) (50) に入る最も適切な語句を語群の中から選び、その番号を解答用紙の所定の欄にマークしなさい。また、下線部に関する設問 (ア) (51) (52) から (カ) (67) (68) に対する解答として最も適切な語句を語群の中から選び、その番号を解答用紙の所定の欄にマークしなさい。

20世紀には、平和を願う人々の希望に反して、甚大な人的・物的被害を生み出す総力戦がしばしばくり広げられた。その幕開けとなった第一次世界大戦の後、国際連盟が設立されるなど、平和の確立がめざされたが、それもやがて挫折を見ることとなった。

ドイツでは、1933年に政権を掌握したナチスのヒトラーが翌年に総統となり、領土的野心をもって戦争の準備を進めていった。1939年9月にドイツはポーランドに侵攻し、第二次世界大戦が勃発した。翌年5月にはオランダとベルギーの侵略を開始するなど、ドイツ軍はヨーロッパ大陸に展開していった。追いつめられたフランス軍およびイギリス軍は、ドーヴァー海峡のフランス側に位置する (43) (44) からイギリスへ向けた撤退作戦を敢行した。これ以降、ドイツは一時ヨーロッパ大陸の大部分を支配下においた。

1941年6月にドイツがソ連に攻撃を仕掛け、同年12月に日本軍がハワイの真珠湾やマレー半島、フィリピンなどに侵攻すると、ソ連とアメリカ合衆国という巨大な国土と資源を有する大国が戦争に加わった。アメリカ合衆国はすでに武器貸与法を通じて、イギリスなどの連合国への支援を進めていた。1942年夏からのスターリングラードの戦いによってソ連軍が優勢になると、ドイツ軍の敗走が始まった。1943年には、アメリカ合衆国のアイゼンハワーが (エ) イタリア本土上陸を指揮し、翌年には連合国軍最高司令官となりノルマンディー上陸作戦を成功させた。1945年5月にドイツは無条件降伏を受け入れたが、それまでにおびたしい数の一般市民が犠牲となった。

戦争の惨禍を目の当たりにした連合国の指導者たちは、新しい国際機構によって恒久的な平和を実現しようと試みた。1943年秋には、アメリカ合衆国、イギリス、ソ連、中国の4か国が、「国際安全保障機構の早期設立」を含む (45) (46) 宣言を公表し、これが翌年のダンバートン=オクス会議につながる。そこでの合意をもとに1945年に国際連合が発足した。

ところが戦後の世界は、国際連合による平和ではなく、冷戦の下で核兵器の恐怖に彩られていく。1945年7月にアメリカ合衆国が原子爆弾の実験に成功すると、その他の大国も次々と核実験を行い、世界は核戦争の危機に直面するようになった。1962年には、ソ連がキューバにミサイルを配備したことを契機に緊張が高まり、米ソ間で核戦争が始まる一歩手前まで進んだ。その後、核戦争を回避して、核兵器の拡散を防ぐための試みがなされ、さらには (キ) 緊張緩和を目指す外交が展開された。

核戦争の恐怖は一時的に後退していったものの、冷戦の時代にも実際には世界各地で戦争が勃発した。1950年には朝鮮戦争が始まり、1965年以降にはアメリカ合衆国による北ベトナム爆撃が熾烈化する。西側陣営内でも、アルゼンチンとの間の領土問題をめぐり、イギリスが1982年に (47) (48) 戦争を開始した。この頃、アメリカ合衆国は軍備拡大を進めソ連と対決姿勢を強めた。

このように、1980年代前半には一時的に東西対決が強まるかに見えたが、ソ連で1985年に (49) (50) の後を受けてゴルバチョフが共産党書記長になると、次第に緊張緩和が進んだ。1989年12月に地中海のマルタ島で、ゴルバチョフ書記長とアメリカ合衆国のブッシュ大統領が冷戦終結を宣言した。こうして人々は、世界戦争の恐怖から解放された。しかしながら、冷戦後も武力紛争がなくなったわけではなく、平和の実現に向けた努力が引き続き求められている。

(ア) クリミア戦争での従軍経験をもち、人道主義の立場から戦争批判を展開した、『復活』の作者は誰か。

(51) (52)

(イ) ヒトラーの政権掌握後にはユダヤ人に対する迫害が行われたが、ユダヤ人とならんで迫害された、インド北西部に起源をもつとされる人々は誰か。(53) (54)

(ウ) 1940年にはパリが占領されてフランス中部にヴィシー政府が設置されたが、その国家主席は誰か。

(55) (56)

(エ) ムッソリーニ失脚後の1943年7月に成立した政権は何か。(57) (58) 政権

(オ) 連合軍が1945年2月に行った大規模な無差別爆撃によって、3万5000人も一般市民が犠牲となったドイツの古都はどこか。(59) (60)

(カ) この間、反核運動が世界的に広まったが、1955年8月に第1回の原水爆禁止世界大会が開催された都市はどこか。(61) (62)

(キ) 1975年に東西両陣営から35カ国の首脳が集まった全欧安保協力会議が開催された都市はどこか。

(63) (64)

(ク) 朝鮮戦争勃発後に国連軍最高司令官として作戦を指揮し、核兵器の使用をめぐりアメリカ合衆国のトルーマン大統領と対立して1951年4月に解任された軍人は誰か。(65) (66)

(ケ) 中距離核戦力 (INF) 全廃条約やアフガニスタンからの撤退など、緊張緩和が進んでいった。この時期のソ連の外交は、何と呼ばれているか。(67) (68)

[語群]

- | | | | | |
|-------------|-------------|-------------|--------------|-------------|
| 01. アサーニャ | 02. アンドロポフ | 03. イーデン | 04. ヴェルダン | 05. エリツィン |
| 06. エリトリア | 07. カイロ | 08. カレー | 09. ギニア=ビサウ | 10. キャンベラ |
| 11. クラクシ | 12. グラスノスチ | 13. クリオーリョ | 14. コスイギン | 15. ゴムウカ |
| 16. コルシカ島 | 17. サハロフ | 18. サラザール | 19. シエラレオネ | 20. シャロン |
| 21. シュテッティン | 22. ジュネーヴ | 23. 人権外交 | 24. 新思考外交 | 25. ストックホルム |
| 26. ダンケルク | 27. ダンツィヒ | 28. チューホフ | 29. チェルネンコ | 30. ティトー |
| 31. テヘラン | 32. 東方外交 | 33. トウルゲーネフ | 34. ドストエフスキー | 35. トリアッチ |
| 36. トルストイ | 37. ドレスデン | 38. 長崎 | 39. ニュルンベルク | 40. バグウォッシュ |
| 41. バドリオ | 42. バンドン | 43. 広島 | 44. フォークランド | 45. プーシキン |
| 46. ブルム | 47. ベオグラード | 48. ペタン | 49. ベネシュ | 50. ヘルシンキ |
| 51. ベルリン | 52. ベレストロイカ | 53. ペロン | 54. ポツダム | 55. マオリ |
| 56. マーシャル | 57. マジャール人 | 58. マーストリヒト | 59. マッカーサー | 60. マッカーシー |
| 61. ミュンヘン | 62. ムラート | 63. モスクワ | 64. ルール | 65. ロマ |
| 66. ワズプ | 67. ワルシャワ | | | |

問題Ⅳ

以下の問題文の空欄 (69) (70) から (77) (78) に入る最も適切な語句を語群の中から選び、その番号を解答用紙の所定の欄にマークしなさい。また、下線部に関する設問 (ア) (79) (80) から (キ) (91) (92) に解答し、(ア) から (カ) については、最も適切な語句を語群の中から選び、(キ) については、最も適切な選択肢を選び、それぞれの番号を解答用紙の所定の欄にマークしなさい。

奴隷制は、人類の歴史を通じて、広く観察されてきた。

古代ギリシア・ローマにおいて、市民生活は奴隷労働により支えられていた。アテネでは、民主政が発達した一方で、多くの奴隷が家事や農耕に従事させられた。リュケイオンを設立した (69) (70) は、その著作で「自然によって自由人である人びとと、奴隷である人びとがいることは明らか」であり、「後者にとって、奴隷であることは有益でもあり、正しいことでもある」と論じた。

イスラーム諸王朝は、奴隷を様々な用途で活用した。例えば、アッバース朝のカリフは、^(ア)東アフリカ沿岸に住む人々を奴隷とし、土地改良や軍務に従事させた。11世紀後半にマラケシュを首都として成立した (71) (72) 朝も奴隷を軍人として活用した。そして、それは^(イ)(71) (72) 朝を滅ぼした王朝についても同様であった。

なお、イスラーム世界においては、奴隷であっても社会的階梯を登ることは可能であった。トルコ人の軍人奴隷であるマムルークは、9世紀以降多くのイスラーム王朝で軍事力の中心となり、地域の支配者となることもあった。マムルーク出身でマムルーク朝第5代スルタンの (73) (74) は、アッバース朝のカリフをカイロに復活させ、イスラーム世界の盟主となったのである。

近代に入っても奴隷制は各地に存在し、奴隷は主要産業と直結した単純労働に従事した。16世紀初頭以降のスペイン支配地域では、本国政府が外国商人と締結したアシエントに基づいて供給された奴隷が、鉱山労働や食料生産などに従事させられた。これらの奴隷の主な供給源として、アフリカ西部のニジェール河三角州地帯を中心に栄え、1897年まで存在した (75) (76) 王国が挙げられる。(75) (76) 王国は、15世紀末に西欧人との接触を開始し、交易を行うようになった。その際に、胡椒や象牙とともに、奴隷狩りにより獲得した奴隷を売り渡した。奴隷はスペイン支配地以外にも導入された。例えば、北アメリカの^(ウ)ヴァージニア植民地には1619年に初めてアフリカからの黒人奴隷が到着した。

フランス革命を一つの契機として、奴隷制度に反対する動きが活発化する。これは同革命の理念であった人間の自由・平等と奴隷制度の矛盾に由来するものともいえよう。

1791年には、カリブ海の 에스パニョラ島西部のフランス植民地で (77) (78) を指導者とする黒人奴隷の反乱が発生する。この反乱自体は (77) (78) が逮捕され、失敗するが、最終的には彼の部下であった人物の指導の下で^(エ)1804年に独立が宣言された。

これ以降、欧米諸国では奴隷貿易や奴隷制の廃止に関連する国内法が制定されていった。フランスでは、フランス革命の頃から奴隷制の廃止に向けた動きが広がり、最終的には1820年に奴隷貿易が、1848年の二月革命において奴隷制が廃止された。^(オ)またイギリスでは、1807年に奴隷貿易廃止法が制定され、1833年に植民地をも含む奴隷解放令が成立した。さらに、独立後のアメリカ合衆国では、段階的に奴隷貿易が禁じられていった。その一方で、^(カ)奴隷制の廃止に向けた運動が展開されたが、奴隷制の完全な廃止は1865年の憲法修正をまたねばならなかった。

第二次世界大戦後の奴隷問題は、人権問題や労働問題として捉えられ、^(キ)その根絶に向けて、多くの法的文書が作成されてきた。例えば、日本国憲法第18条は「何人も、いかなる奴隷的拘束も受けない。又、犯罪に因る処罰の場合を除いては、その意に反する苦役に服させられない。」と規定している。また、「市民的及び政治的権利に関する国際規約」(自由権規約)の第8条第1項は、「何人も、奴隷の状態に置かれぬ。あらゆる形態の奴隷制度及び奴隷取引は、禁止する。」と規定しているのである。

- (ア) アリー＝ブン＝ムハマドに率いられて869年に反乱を起こし、10年余にわたり南イラク一帯を支配したこの人々は何と呼ばれたか。 (79) (80)
- (イ) 12世紀前半に成立したこの王朝に仕え、スコラ哲学の基礎を提供したコルドバ生まれの哲学者は誰か。 (81) (82)
- (ウ) ヴァージニア植民地の建設に最初に取り組んだ人物は誰か。 (83) (84)
- (エ) その後、ラテンアメリカで次々に誕生した独立国家について、アメリカ合衆国はヨーロッパ諸国からの干渉を排するべくモンロー宣言を発したが、これを支持した当時のイギリスの外相は誰か。 (85) (86)
- (オ) イギリス出身の宣教師で、ムスリム商人による奴隷貿易の根絶をめざしてアフリカを何度も探検し、一時行方不明になったものの、1871年にタンガニーカで救出された人物は誰か。 (87) (88)
- (カ) アメリカ合衆国で解放された奴隷の移住先として建設され、1847年に独立した国は何か。 (89) (90) 共和国
- (キ) 国際連合憲章署名以降に作成された諸文書の採択や施行に関して正しい順序となっているものをひとつ選び、その番号を (91) (92) にマークしなさい。

- [01] 国際連合憲章署名 — 国際労働機関憲章採択 — 世界人権宣言採択 — 日本国憲法施行 — 自由権規約採択
- [02] 国際連合憲章署名 — 国際労働機関憲章採択 — 日本国憲法施行 — 世界人権宣言採択 — 自由権規約採択
- [03] 国際連合憲章署名 — 世界人権宣言採択 — 国際労働機関憲章採択 — 日本国憲法施行 — 自由権規約採択
- [04] 国際連合憲章署名 — 世界人権宣言採択 — 日本国憲法施行 — 国際労働機関憲章採択 — 自由権規約採択
- [05] 国際連合憲章署名 — 日本国憲法施行 — 国際労働機関憲章採択 — 世界人権宣言採択 — 自由権規約採択
- [06] 国際連合憲章署名 — 日本国憲法施行 — 世界人権宣言採択 — 国際労働機関憲章採択 — 自由権規約採択

[語群]

- | | | | |
|---------------------|-------------------|----------------|--------------|
| 01. アイバク | 02. アシャンティ | 03. アリストテレス | 04. イダルゴ |
| 05. イブン＝アブドゥル＝ワッハーブ | | 06. イブン＝シーナー | 07. イブン＝ハズム |
| 08. イブン＝バットゥータ | 09. イブン＝ルシュド | 10. ウィルバーフォース | 11. ウォード |
| 12. ウラマー | 13. オCONNELL | 14. カニング | 15. カネム＝ボルヌー |
| 16. キューバ | 17. クック | 18. ゴードン | 19. コブデン |
| 20. コンゴ | 21. サモリ＝トゥーレ | 22. サラディン | 23. ザンギー |
| 24. ザンジュ | 25. サン＝マルティン | 26. ジェファソン | 27. スーダン |
| 28. ソンガイ | 29. ダホメ | 30. タレス | 31. チャドウィック |
| 32. トゥグリル＝ベク | 33. トゥサン＝ルヴェルチュール | | 34. トウパク＝アマル |
| 35. ドレーク | 36. ナスル | 37. ニザーム＝アルムルク | 38. バイバルス |
| 39. パナマ | 40. ピアリ | 41. ファレス | 42. ブガンダ |
| 43. プライト | 44. プラトン | 45. プロタゴラス | 46. ヘディン |
| 47. ベニン | 48. ヘラクレイトス | 49. ホーキングズ | 50. ホラズム |
| 51. マジ＝マジ | 52. マフディー | 53. 南アフリカ | 54. ムラービト |
| 55. ムワッヒド | 56. モノモタパ | 57. リー | 58. リヴィングストン |
| 59. リベリア | 60. ローリ | | |